



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475

ロシアのウクライナ侵略戦争で明らかに・・・日本共産党演説会(5月8日)より 「安全な原発はない」原発再稼働はさせない。 県民のいのちを守る医療機関の統廃合は止める。



遠藤れい子県会議員

5月8日(日)日本共産党演説会が新潟市で行われ、会場に700人、インターネット視聴に450人が参加し、遠藤れい子県会議員が司会を務めました。

「原発反対」貫く片桐さん
23歳の時に柏崎刈羽原発の建設反対小屋に参加、巻原発建設では手書きの反対チラシを作成し、建設撤回を勝ち取るなど一貫して原発の危険性を告発してきた。ロシアのウクライナ侵略戦争で原発が攻撃を受け、「安全な原発はない」ことが明らかになった。新潟県知事選挙で子どもたちに安全な社会を残すことが大人の責任と。

◇森ゆうこ参議院議員から熱い連帯のメッセージ。
「市民と野党共闘の勝利で、改憲を許さぬ政治の確立を」

たけだ良介参議院議員・
「米価下落対策と食糧自給率改善を。豪雪そのものが災害である」と質問
国会で「豪雪そのものが災害である」と質問し、米価暴落対策と食糧自給率を上げる農政への転換を求めました。野党共闘の発展のためにも「比例で日本共産党の躍進を」と力強い訴え。

**穀田恵二衆議院議員・
「11万3千人への電話かけをほんまに頼みます。」**
「今、戦争か平和かが問われています。参院選挙で野党共闘が勝利する。日本共産党が躍進する。そのためには新潟県の皆さんが目標を達成する。スマホや携帯電話に登録されている知人に、ほんまに電話かけてください。頼みます。」と呼びかけました。「ロシアのウク



たけだ良介参議院議員

ライナ侵略を理由に、日本の軍備強化を叫び、敵基地攻撃能力の方針を持って自民党などは声を高めていくが、そうした国対する監視・抑圧の動きが強まる。これを許してはならない。

総がかり行動で紹介された丸岡先生の言葉
4月19日の総がかり行動で遠藤れい子県会議員が行ったスピーチ。
93歳医師の丸岡稔先生の言葉を紹介します。
憲法9条は、戦争で数百万人の犠牲の上に生まれるべくして生まれたものです。だからこれをなくそうとすることは絶対に阻止しなければならぬ。
昨年の衆議院選挙で改憲勢力が3分の2以上を占めたのは本当に残念。今の政治家は票になり



穀田恵二国会対策委員長

国民の自由と平和、人権を守るためにも、知事選と参院選は大変大事だ。新潟の皆さん、野党共闘の力を発揮してください。ほんまに電話かけ頼みます。」

と重ねて参加者を激励しました。

やすい目先の景気対策や経済対策を訴えるだけで国の根本となる平和や命の問題、憲法のことを訴えないのが歯がゆい。
「武器を持たなければ家族を守れない、国を守れない、素手で戦うのか」と不安をあおる。
しかし、憲法9条を守り通すことは武器を持つより勇気が必要だが、それが人間の心呼び起こすことになると思える。武力に訴えても物事は解決しません。



日本共産党演